

第1回 麻生区地域デザイン会議 開催結果概要

日時：令和4年3月27日（日）14：30～16：30

場所：麻生区役所 4階 第1会議室

参加者：約50名



はじめに 地域デザイン会議とは

— 事務局から資料に基づき説明 —

1 新百合ヶ丘駅周辺の公園や公共空間の利活用の現状について

— 事務局から資料に基づき説明 —

2 公共空間等の有効活用による新たな参加を生み出すまちづくり

講師 矢口哲也さん（早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授）

3 質疑応答

（主な質疑）

・新ゆりグリーンタウンにも公園があり道路公園センターに管理いただいているが、改装するには費用がかかる。本日は色々、夢のあるお話しを伺い、我々も色々意見を出していきたいが、実現させるために、予算立てをどのようにやっていくか。具体的な方法論を、先生や区長に伺いたい。

→公共工事であると年度執行の原則があり、市民の意見を十分に伺えないこともあると思う。一気に全ての解決を望まずに、できることを段階的に実施することが重要ではないか。また、市民でできることや行政にしかできないことを整理し、時間をかけて

話し合いを進めていくことも必要ではないか。また、できること、できないことが生じた場合、理由を共有していくことも重要であると考えている。

・先生の講演では人間が主役とのお話があったが、千代ヶ丘には狸が住んでいる。公園と公園を結びつけるような発想を持てば、動物にも住みやすくなるのでは。住民が本当に住みやすいまちづくりを考えていきたい。

→生態系を守りながらまちづくりを考えることも重要な視点である。海外では、道路建設する一方で、小動物の導線を確認している事例がある。こうした生態系を守るものとしては、街路樹の役割は大きいと考えている。

・とにかくやってみよう、楽しんでやっという姿勢を持つことが重要とのお話が印象に残った。先生から紹介いただいた事例も興味深かった。これらを、麻生区内で実現するためにはどうしたらよいと考えるか。

→予算の話もあるが、デザインの時に住民が関われる余白を残すことも重要と考える。公園にしても一旦改装して、終わりではなく、住民が関与できる余地があると継続して、参画できるようになるのでは。

・まちの公園は避難所の役割も担っている。私も阪神大震災時に公園を拠点に7か月生活したことがある。一方で、公園で自立した生活をしようとした方が排除されている事例が東京で起きていると拝聞する。もし、川崎市で災害が起きたら避難所内では区民全てを賄うことはできず、公園を活用することがあるのではと感じた。

→現状の街区公園は、避難生活をするには想定されていない。東京都のある地域では、避難時のデータベースを整理している事例や、「逃げ地図」といった被災時の経路を議論するワークショップを開いている事例がある。公園は被災時における1つの資産ではあるが、公園だけで考えるのではなく、もう少し大きい復興などの視点でのワークショップなどの議論から、公園に必要な機能を考えることがあってもよいかもしれない。

・コンテクスチュアリズムについて伺いたい。住民が都市計画について考えはじめることを効果と見るのか、具体的な目に見える変化を起こすことを効果と見るのか、計画そのものに参画して変えようとする行動を起こすことを効果とみるのか、何を効果とするのかお教えいただきたい。

→全部大事な話ではあるが、従来の都市計画と異なるのは、形として自分たちのアイデアをまちに当てはめてみて実現したものを目にするのが大きな違いではと思う。

・万福寺ふるさと緑地では、キンザン？が咲くなど大好きな公園である。以前、シイタケ栽培などもしてみたいと考えた。麻生区には多くの公園があるが、ネットワークにして結びつける方法があれば教えてほしい。

→ここで答えを述べることはできないが、今後自家用車の数は減る傾向にあり、車道空間の再分配の機会が訪れると考えている。こうした機会を捉えて、議論することがよ

いのではないか。

4 まとめ

(三瓶区長)

- ・本日は大変興味深い御講演をいただいた。講演の中には「とにかくやってみる」「楽しんで行う」などいくつかのキーワードも散りばめられていたと感じる。
- ・地域デザイン会議の運営（メンバー、形式）は白紙であり、今後検討していくが、これまでのように机上の議論ではなく、とにかくやってみて、ダメなところがあれば再チャレンジしていくようにしていきたい。
- ・こうした取り組みを是非、令和4年度中に実施していきたい。
- ・公園管理の予算については、即答できない部分もあるが、決して潤沢にあるものではない。しかしながら、公園に対して何もしないと色々な課題が山積みになるだけである。
- ・皆様からのご意見を伺いながら、持続可能な公園を守り、創り上げていきたいと考えている。

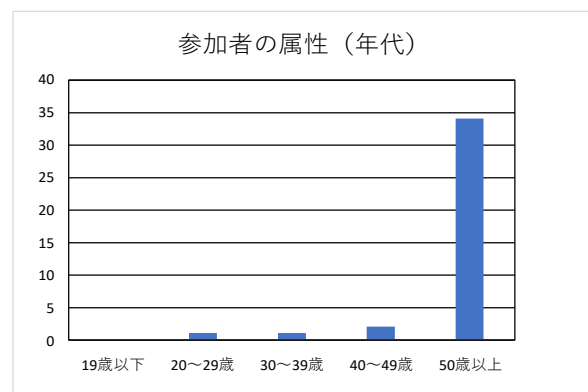
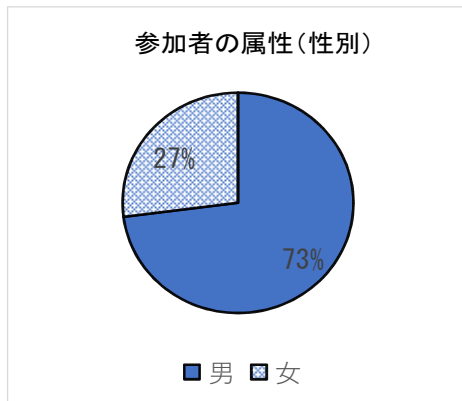
麻生区地域デザイン会議 参加者アンケート（回答計38人）

本日は麻生区地域デザイン会議にご参加いただきありがとうございます。
今後の参考とさせていただきます、アンケートにご協力をお願いします。

【参加された方について】

■性別 男性 27人 女性 10人 未記入 1人

■年齢 19歳以下 0人 20～29歳 1人 30～39歳 1人 40～49歳 2人
 50歳以上 34人



■職業 (専業)主婦・主夫 3人 自営業 7人 勤め人(フルタイム) 12人
 パート・アルバイト 1人 その他 () 9人
未記入 3人

■居住地 麻生区 30人 (町名→) 在勤 6人 在学 未記入 2人
白山 5人、上麻生 4人、千代ヶ丘 4人、万福寺 3人、高石 2人、王禅寺西 2人、
金程 1人、百合丘 1人、白鳥 1人、細山 1人、はるひ野 1人、栗木台 1人、栗平 1人、
栗木 1人、町名記入なし 2人

■在住年数 1年未満 0人 2～5年未満 1人 5～10年未満 2人
 11～20年未満 7人 20年以上 25人 未記入 3人

【新百合ヶ丘駅周辺の公園について】

1 「地域デザイン会議」の開催をどちらでお知りになりましたか。(いくつでも)

- チラシ(どこで) 11人 ホームページ 5人
タウン紙 4人 知人 6人 その他() 17人

2 講演について感想をお聞かせください。

別紙参照

3 一番活用している新百合ヶ丘駅周辺の公園をお聞かせください。

(←結果として複数回答となっている)

- 万福寺おやしろ公園 9人 万福寺ふるさと緑地 5人 古沢こもれびの社緑地 1人
万福寺さとやま公園 8人 万福寺もりの丘公園 1人 万福寺檜山公園 7人
上麻生隠れ谷公園 7人 山口白山公園 4人 鶴亀松公園 7人
弘法松公園 6人 ・その他選択肢にない公園を記載した回答あり

4 上記3で回答した公園をどの程度利用していますか？

- ほとんど毎日 1人 週に2・3日程度 2人 週に1日程度 6人
2週間に1日程度 4人 1か月に1日程度 10人
その他() 4人

5 上記3で回答した公園の主な利用目的は何ですか？

- 散歩 16人 運動 2人 イベント 4人 清掃 3人
通勤・通学の通り道 2人 その他() 7人

6 「公園でこんなことをやってみたい」「こんな公園があったらいいな」と思うことがありましたらご意見をお聞かせください。

別紙参照

7 その他ご意見などを自由にご記入ください。

別紙参照

ご協力いただきありがとうございました。

「2 講演について感想をお聞かせください。」(自由記入)

・事例を知るといふ観点では興味深く知見を拡げることができた。麻生区や自分事として捉えようとした場合、ご講演内容から少し飛躍がある印象も受けるので理想と現実をブリッジする内容があってもよいのでは。

・パブリックレルムの主役はひと、住民です。公園と公園をつなぐ事が大切。ちいさいことから始めよう。(学びとりました)

・大変参考になる内容でした。

・大いに啓発されました。

地域の人を1つの事につなげる難しさを感じています。区長が言うように議論ができるようになると思います。公園の個々の特色とそれをつなげる媒体空間(歩道)があるといいです。ウォーキングマップを公園に設置して行き方がわかると思います。

・大変良かったです。

・パブリックレルムのデザイン。心に触れる場所、お気に入りの場所。(何かのイベントに使ってみたい)

・日頃考えていることが出てきて感動的だった。

・楽しいお話。ためになる話。勉強になりました。今後の活動に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

・まちづくりは「失敗したら改良していこう」という意思が行政と市民が共有すること。「自己と公共」の概念が地域デザイン会議には根底にあるべきと知る。「公共地である道路」を市民が活用拡大できること。

・今までにあまり聞いた事のない話が多くて面白かったです。なお、問題は町会の高齢化に対し若者をどう取り込むか重要と考える。

・非常に参考になりました。人が中心であることや、とにかくやってみて、ダメだったらやりなおす、また何事も楽しんでやることが、大切であることを学びました。

・事例が豊富であったため、理解度が深度化された。防災、高齢化社会をデザインした都市公園の必要性は重要であると理解した。麻生区の現状をイメージしながら講義を理解した。

学術的内容を簡略化して頂き、素晴らしい講義と思います。

・都市デザイン、協働の視点でのお話とても興味深かったです。メインで活動する人中心だと続かないと言うが、メインでエネルギーを持つ人がいなくては何も変わらず話は進まない。大学のプロジェクトのように年度をまたいで関われる人がいないと長期的な視点で検討できないことは問題だと感じる。

・新百合ヶ丘北口ロータリー雑草は取り除いたが、何とか南口並みにきれいにしたい。奉仕に参加したい。

・小さなことからやってみるといふことは大切だと思いました。公園には使い方のルールがあり、何をやるにも役所へのお伺いが必要というイメージを払拭するのか、自由な使い方を示せる場で知ってもらうことが必要だと思います。

- ・デザインのアイデア提案するヒントを与えていただき参考になりました。
- ・よかったと思います。
- ・まちづくりのテーマ、取り組み方などについて多くのヒントが得られたと思う。例えばまちの中に人にふれる場所はあるのか？からスタートすることもよいと思います。
- ・大変楽しく聞かせていただきました。このような考え方で公共スペースの利用ができると思いいます。
- ・大変興味のあるお話を伺えました。今後に期待します。
- ・ひらがなの「まちづくり」の課題は公園だけでなく、すべて（芸術・文化）に言える講演だった。道路の利用等、視点や発想のきりかえ、大切にしていることがたった一人の大切であっても目を向ける等、人と人のつながりの原点が話されて素晴らしかった。聞いた方は良いアイデアがわいてくるのでは
- ・公園の利用のしかた。子どもばかりではなく大人の利用とか？勉強になりました。
- ・道路の主役は住民である。移動のための空間ではなく人がとどまり交流する空間である。非常に感銘しました。また、じっくり計画するのではなく失敗してもよいのでとりあえずやってみるといふ発想は気づきになりました。
- ・奉仕し奉仕される関係を考えたい
- ・公園より街路の課題が多くて良い意味でビックリしました。この講演を道路公園センターの方が聞いていることが良かったと思います。
- ・貴重な世界の先進的な事例に触れることができ良かったです。人間中心で画一的な発想からの脱却が重要と思いました。

「6 「公園でこんなことをやってみたい」「こんな公園があつたらいいな」と思うことがありますらご意見をお聞かせください。」(自由記入)

- ・ボール遊びができる公園（サッカー、キャッチボールレベルで）。スケボーができる公園
- ・運動のためにポールウォーキングをしている方が増えてきました。決まったルートがなく道路を歩き回っていますので公園内にもロード出来るスペースを作っていたきたいと提案いたしました。
- ・自然保護活動
- ・対象の講演で各種のイベントをそれぞれ行い、住民のみなさんは各公園をめぐるイベント
- ・草花遊びのインストラクターの資格を取得しましたので実際にやってみようということでいろいろな公園を探しました。なかなか適する公園がなく、コミュニティスペースがある空間のある公園（テーブル・椅子がある）他の利用者とは重ならない空間がなく今考え中です。
- ・公園のネットワーク化。安心して歩けるミチづくりが必要だと思う。

- ・持続可能な都市デザインの中での公園と管理責任、資金予算のあり方
- ・都市内公園を連携させるには、交通セル方式のまちづくりも必要と思います。新百合ヶ丘駅周辺の一定エリアには車の流入・出の禁止。新百合ヶ丘駅周辺は歩行者のみ。

- ・子どもをまきこんだ「遊べる防災」

- ・地域で大切に使うてもらえる取組を思考できたらいいと思います。川崎市事業の寺子屋を運営していますが、小学校の校区内ミニ公園～大きな公園までの四季の写真をHPで共有することから始めています。地域の人々の力（好意）が大切かと思っています。

- ・駅北口の美化活動

- ・サードプレイスとなる公園。気軽にマルシェを開催できる公園。行けば何か楽しいことが起こっている公園。利用者が様々な年代がいる公園。

- ・福祉施設利用者等が陽だまりで休んだり散歩に利用できるバリアフリーを取り入れてほしい。

- ・多くの方が寄ってみたいと思うには、ベンチをもっと多く設置すべき。ベンチでなくても座れる場所を多く作ってほしい。皆が集まったら新しいアイデアも出る。

- ・何もない、緑だけの公園

- ・リラックスできて、音楽などが聞ければよいと思う。

- ・整備されすぎた公園ばかりでなく、自分の家の一部のように感じる公園。自由にさわったり、取ったりできる（草、花がある）遊具の色はたくさん（夢がもてる）

- ・公園や緑地だけが公共空間ではないということにあてはまると思うが、新百合ヶ丘駅北口ロータリーから区役所につながる街路空間もりっぱな公共空間。ここをもっと美しい景観にしたい。現在はさつきなど植えこみに雑草伸び放題。はげ地になっているところなど悲しい。北口ロータリーは新百合ヶ丘の顔（南口と共に）区役所は麻生区の顔です。ここの街路樹と植え込み、花壇を美しく保ちたい。

- ・勤務の昼時間に運動できるジム用具やランニングできる空間があると良い。住民と在勤者の交流ができる空間やイベント。（平日）

- ・たき火、バーベキューなど日常と少し違う使い方。公園と公園を散歩コースなどでつなぐ。

食べられる公園もいいですね。

- ・川崎市で一番多くの公園や緑地を保有している麻生区は自然財産に恵まれている区なので柔軟な発想や考え方を区民から吸い上げて具体化して麻生区初の新しいチャレンジをしていただきたいと思います。

「7 その他ご意見などを自由にご記入ください。」(自由記入)

- ・使用資料（開示可能なもの）の事前あるいは事後のデータ配布。（紙資料の削減、予復習の観点から）
- ・王禅寺ふるさと公園はすばらしい公園です。（管理も行き届き、幼稚園児・多世代が元気に利用している姿を見ます。）楽しく参加できるイベント等行えたら毎日でも出かけます。高齢者の筋力運動ができるスペース（道具設置）。防災のワークショップができる公園。
- ・麻生区の狙いとヤグチ先生の講話が合っていない気がする。麻生区のターゲットをもっと広域に、公園に限定しない企画にした方が良いと思います。
- ・新百合ヶ丘駅周辺のみでしょうか？
- ・予算つけてもらうためにも活動を活発におこなっている。これは予算つけなくてはというようになればいいと思います。
- ・電柱をなくしたいですね。車道も歩道もひろがります。公園に行きやすい。
- ・緑地の活用を考えたい。柿生の水処理センター広場など「公園」以外の広場や緑地が多く気軽にイベント利用できると良い。思った以上に専門的な内容が多く勉強になった。
- ・万福寺運営協議会のお話では、地域住民を巻き込んで協議会を発足したが、未だ事務局からは手が離れず、どう、地域住民主体に移行させるかが課題とのこと。緑地ボランティアに関して誰がどこまで担うのか、まちづくりと言っても、どこまで関わられるか難しいと思う。
- ・既存の公園に対する議題であります。所有者不明の土地についても考えるべき時期に来ているのではないかと思います。空き家を強制代執行で撤去することも可能になりましたので今後空き地がさらに増えてくることも考えられます。また、公有地でも空き地となっている場所もあると思います。金程で行われている「カナドコロ」のような住民・大学が参画できる場所を考えられるようになればと思います。
- ・今回のテーマは公園や公共空間の利活用でしたが、これからもこのテーマですか？区民会議に替わる新しい参加の形といわれましたので他の分野もあるのですか？
- ・住民ではありませんが、麻生区新百合ヶ丘の在勤者であり、また、コンサル会社ということもあり、この地域デザイン会議への関与は意義あると感じました。
- ・T a c t i c a l U r b a n i s mの考え方は大賛成です。とはいえそのエリアに住んでいる方々のニーズを把握するのも重要ではないでしょうか？例えばビジネス街の公園はお昼休みの弁当を食べる時以外にはあまり利用されていませんし、地域の公園もユーザーはほぼ同一のように見えます。
- ・王禅寺ふるさと公園は掃除がいきとどき木の実一つ落ちていません。木の実や落葉、花びらが落ちていて、子どもたちが拾えることが大事です。芝生も全部刈り取るのではなく一部残しておいてもらえると昆虫が生息し、子どもたちが虫さがしをできるのです。そんな管理をして欲しい。新百合ヶ丘地域の公園を結ぶネ

ネットワークの道は行政、市民、企業と実際歩いてみると道の冠のような散策道ができると思います。かつて柿生の里の散歩道を緑政課の方と市民とが一緒に歩いて散歩道のルートをつくりました。

今日の講師の方へ

栗木の住宅地の道路で子供たちがチョークで○を書き、ケンケン遊び、陣取り遊びをしています。自転車乗りをしたりしています。初めて車で訪れた人が道路で遊んでいるため通れなくてぐるっとまわってきたよ。通行止めにしてもっと多くの子どもたちがおおいばりで遊べれば良いですね。どこに相談しに行けばよいのでしょうか？柿生の里を庭園公園にできたらといつも里山管理作業をしながら思っています。

・地下鉄延伸における新百合ヶ丘前整備において、スケールの大きい都市公園型の駅前整備をお願いしたいと思います。街路空間整備では住民の心象イメージも重要と思います。共感できる街路イメージは必要と思います。その中で歩道幅、車道幅、信号機の設置個所等も重要と思います。地元の中学生・高校生の意見を「きくこと」も重要と思います。社会資本の維持管理における公園整備の優先順位を検討しなければ変化はないと思います。「コンパクトシティと都市公園」なのか「郊外住宅地と都市公園なのか」住民、専門家との継続的な意見交換が必要と思います。公園の整備にはその土地固有の潜在植生林の保存が重要だと思う。土地の緑化保全がトータル的に強化されると思う。森づくり、植生には非常に興味があります。第2回以降の麻生区地域デザイン会議への出席を前広に情報発信をお願いします。「地域デザイン会議」活性化と果実を有効にするためには会議の支柱となるテーマ分野を具体的に5～8事案打ち出して、その進行ステップを記録公開されたい。責任と実現力が基本と思う。「公共物・地（道路）」の管理責任と実行能力の評価が基本。川崎市の緑地公園委員会を手伝った頃、「街路樹になぜ果実種樹木」を植生しないのかと聞きました。その答えは「住民がウバイ合イニナルカラ...」という。飯田市は「リンゴ並木」で有名。山梨県、群馬県も実施例有り。「7つのルールは「まちと生きるため」の全ての切り口に該当する。」